

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 20 号)

2022年 3月24日発行
 兵庫のみ研究所

海域東部では、小型珪藻のスケルトネマが散見されますが、発生量は少ない状況です。海域西部では、スケルトネマ・リゾソレニア等の珪藻類がやや多く確認されました。窒素は、明石海峡部で3 $\mu\text{g-at/L}$ 台、漁場地先では、陸水等の影響もあり概ね3~5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、漁場沖筋では、明石海峡部の海水の影響が見られる東部で概ね2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、西部で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均9.8 $^{\circ}\text{C}$ 。昨年比1.2 $^{\circ}\text{C}$ 、平年比0.6 $^{\circ}\text{C}$ ともに低い。(塩分) 平均31.65psu。前回 (31.86) より約0.2psu低い。
 (栄養塩、珪藻) 海域西部では、小型珪藻のスケルトネマが前回(3/20)調査と比較して増加していたが、細胞の色素は薄く活力は低いと思われる。海域東部では、珪藻類はほとんど確認されない。3月18~19日(40.5mm)と22~23日(14.5mm)の降雨(地点：明石)により、地先と東部沖筋の栄養塩は上昇しているが、西部沖筋では大きく変化していない。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.9	9.8	10.4	11.0
窒素	2.5	3.0	2.9	2.8
リン	0.37	0.29	0.27	0.33

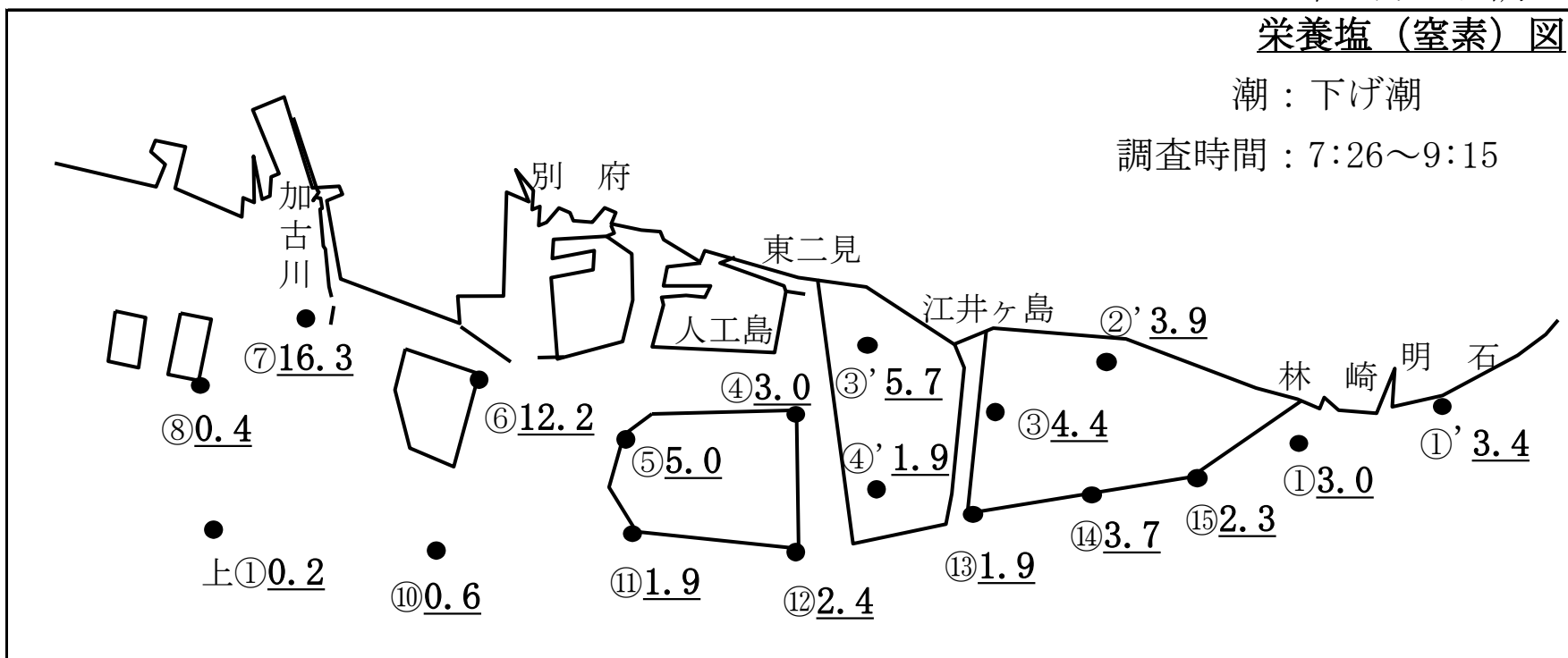
(3/20) ※窒素の平均は別府を除く (3/24)

2022年 3月24日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:26~9:15



水温図

